



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <https://www.rohto.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 雅史

問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	38,641	△7.8	3,878	0.4	4,105	4.6	1,937	△12.6
2020年3月期第1四半期	41,910	3.1	3,860	△23.7	3,924	△25.8	2,217	△35.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 721百万円(△51.8%) 2020年3月期第1四半期 1,498百万円(△64.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.99	16.94
2020年3月期第1四半期	19.46	19.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	206,492	139,269	66.9
2020年3月期	215,301	140,032	64.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 138,224百万円 2020年3月期 138,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	13.00	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	△2.8	21,800	△5.6	22,100	△2.8	14,000	△9.2	122.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	118,089,155株	2020年3月期	118,089,155株
2021年3月期1Q	4,018,988株	2020年3月期	4,018,988株
2021年3月期1Q	114,070,167株	2020年3月期1Q	113,971,083株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景気の停滞感が鮮明になりました。海外におきましても、外出禁止令や企業の活動停止、移動制限などによる経済活動の抑制などが行われ、先行きの不透明さが急速に強まりました。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指して取り組んでおります。

その結果、売上高は386億4千1百万円（前年同期比 7.8%減）となりました。日本におきましては、外出自粛の影響もあり日やけ止めやリップクリーム、コンタクト関連品が減収となりました。一方、高付加価値品が堅調に推移していることや、前連結会計年度末に子会社となった㈱日本点眼薬研究所の売上が寄与いたしました。海外におきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行の影響により減収となりました。

利益面につきましては、売上が減少したものの、販売費及び一般管理費の効率的活用にも努めました結果、営業利益は38億7千8百万円（同 0.4%増）、経常利益は41億5百万円（同 4.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億3千7百万円（同 12.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、259億4千3百万円（前年同期比 1.6%減）となりました。

外出自粛の影響により、日やけ止めやリップクリーム、コンタクト関連品が減収となったことに加え、インバウンド需要も低迷いたしました。一方、美容液「オバジC 25セラムネオ」や「デオコ」は好調に推移しております。また、前連結会計年度末に子会社となった㈱日本点眼薬研究所に加え、医薬品開発・製造受託子会社も好調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が伸び悩んだものの原価低減や販売費及び一般管理費の効率的活用にも努めたことにより、大幅な増益となりました。また、一昨年より取り組んできた構造改革の費用も一巡したことや㈱日本点眼薬研究所なども寄与し、28億9千万円（同 60.1%増）となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、21億3千万円（前年同期比 0.5%減）と若干の減収にとどまりました。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、目薬は伸び悩んだものの、メンソレータム軟膏が増収となったことに加えEコマースでの販売も伸びました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が底堅く推移したことや販売費及び一般管理費の効率的活用により、6千9百万円の損失（前年同期のセグメント損失は1億7千2百万円）と損失が改善いたしました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、18億5千2百万円（前年同期比 21.0%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響で、主力の消炎鎮痛剤や化粧品が大幅な減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売促進費及び広告宣伝費を抑えた結果、5千8百万円（前年同期のセグメント損失は2千1百万円）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、82億9千5百万円（前年同期比 21.7%減）となりました。

売上につきましては、インドネシアやベトナムなどASEAN諸国は増収を確保したものの、主力の中国が新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだことにより、アジアセグメント全体としては大幅な減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、厳しい事業環境の下、販売促進費及び広告宣伝費の低減に努めたものの、10億5千4百万円（同 50.1%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、4億1千9百万円（前年同期比 7.7%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、2千9百万円（同 18.7%減）となりました。

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は2,064億9千2百万円となり、前連結会計年度末より88億8百万円減少いたしました。これは、商品及び製品が18億3千6百万円、原材料及び貯蔵品が10億7千4百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が8億8千9百万円、受取手形及び売掛金が48億1千8百万円、電子記録債権が60億8千8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は672億2千3百万円となり、前連結会計年度末より80億4千5百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が11億8千9百万円増加した一方、未払費用が32億6千7百万円、未払法人税等が27億7千3百万円、賞与引当金が14億2千7百万円、その他流動負債が14億7千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,392億6千9百万円となり、前連結会計年度末より7億6千3百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が4億5千4百万円、その他有価証券評価差額金が7億3千9百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が19億9百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、2020年5月12日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,307	44,418
受取手形及び売掛金	32,900	28,082
電子記録債権	17,893	11,805
商品及び製品	16,504	18,340
仕掛品	3,218	2,895
原材料及び貯蔵品	10,903	11,977
その他	3,757	4,905
貸倒引当金	△377	△351
流動資産合計	130,108	122,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,048	20,259
その他（純額）	28,412	27,722
有形固定資産合計	48,460	47,982
無形固定資産		
のれん	3,373	3,162
その他	1,945	1,860
無形固定資産合計	5,318	5,023
投資その他の資産		
投資有価証券	23,880	24,155
その他	10,258	10,046
貸倒引当金	△2,725	△2,788
投資その他の資産合計	31,413	31,412
固定資産合計	85,192	84,418
資産合計	215,301	206,492
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,324	12,514
電子記録債務	2,919	2,791
短期借入金	2,105	2,463
未払費用	25,629	22,361
未払法人税等	4,555	1,782
賞与引当金	2,643	1,216
役員賞与引当金	40	7
返品調整引当金	557	425
売上割戻引当金	2,178	1,802
その他	10,161	8,684
流動負債合計	62,117	54,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
固定負債		
長期借入金	5,190	5,224
退職給付に係る負債	4,317	4,298
債務保証損失引当金	1,957	1,926
その他	1,685	1,723
固定負債合計	13,151	13,172
負債合計	75,269	67,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	5,661	5,661
利益剰余金	131,985	132,440
自己株式	△4,935	△4,935
株主資本合計	139,215	139,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,144	4,883
為替換算調整勘定	△2,617	△4,526
退職給付に係る調整累計額	△1,843	△1,803
その他の包括利益累計額合計	△316	△1,446
新株予約権	382	382
非支配株主持分	749	661
純資産合計	140,032	139,269
負債純資産合計	215,301	206,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	41,910	38,641
売上原価	17,551	16,412
売上総利益	24,359	22,229
返品調整引当金繰入額	59	—
返品調整引当金戻入額	—	132
差引売上総利益	24,299	22,361
販売費及び一般管理費	20,438	18,483
営業利益	3,860	3,878
営業外収益		
受取利息	113	93
受取配当金	211	186
持分法による投資利益	—	29
投資事業組合運用益	2	—
その他	133	164
営業外収益合計	459	473
営業外費用		
支払利息	33	32
持分法による投資損失	205	—
為替差損	112	49
貸倒引当金繰入額	—	62
投資事業組合運用損	2	71
その他	42	30
営業外費用合計	395	246
経常利益	3,924	4,105
特別利益		
固定資産売却益	153	—
特別利益合計	153	—
特別損失		
減損損失	—	125
投資有価証券評価損	748	987
関係会社株式評価損	92	—
貸倒引当金繰入額	50	—
関係会社貸倒引当金繰入額	3	—
特別損失合計	894	1,112
税金等調整前四半期純利益	3,183	2,992
法人税等	959	1,045
四半期純利益	2,224	1,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,217	1,937

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,224	1,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△414	738
為替換算調整勘定	△379	△1,998
退職給付に係る調整額	43	40
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△5
その他の包括利益合計	△725	△1,225
四半期包括利益	1,498	721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,484	807
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	26,377	2,140	2,346	10,591	41,456	453	41,910	—	41,910
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	864	268	8	896	2,038	12	2,050	△2,050	—
計	27,242	2,408	2,354	11,488	43,494	466	43,960	△2,050	41,910
セグメント利益 又は損失(△)	1,805	△172	△21	2,114	3,726	35	3,761	98	3,860

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額98百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	25,943	2,130	1,852	8,295	38,222	419	38,641	—	38,641
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	776	184	11	797	1,769	8	1,778	△1,778	—
計	26,720	2,315	1,863	9,092	39,992	427	40,419	△1,778	38,641
セグメント利益 又は損失(△)	2,890	△69	58	1,054	3,933	29	3,963	△85	3,878

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額△85百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては125百万円であります。